

(第2会場：4F視聴覚室)

■司会 田原 智子〈広島県〉 広島県立生涯学習センター 主任

鶴本 秀明〈大分県〉 大分県教育庁佐伯教育事務所 社会教育主事

5.19

1. 楽修会と町内ものづくりマップによるまちづくり交流 13:30~13:55

— 地域アニメーターの実験 —

麓 宏吉〈鹿児島県〉 始良町教育委員会社会教育課 公民館指導員

地区公民館を拠点として「楽修会」構想による月例会を実施してきた。また、こつこつと地域のものづくりに励んできた人々の人材マップ(「あいあいマップ」)の作成を通して、子ども会活動の支援など地域の活性化に取り組んでいる。人材マップに登場した人々の意欲の向上、子どもたちの積極性の向上が観察されている。今後の課題はそれぞれの人材の個性を生かした活用方法の開発、他の市町村との交流プログラムの創造である。

2. 星ヶ窪ハイキングの歴史と交流イベントの総合化 13:55~14:20

— 仁淀村生涯学習村むらおこし事業の新戦略 —

坪内 武則〈高知県〉 仁淀村教育委員会 主監

星ヶ窪とはむかし隕石が落下して、そのくぼ地に水が溜まって池となったところである。15年の歴史をもつ星ヶ窪ハイキングを中核として、各種団体の手作りイベントが定着してきている。平成12年度は、生涯学習事業として、「熱気球の体験遊覧」、「青空コンサート」、「子ども対象の各種の体験教室」、「カラオケ大会」など広域的なイベントが実施され、事業効果の波及範囲が拡大している。

~ ティータイム ~

14:20~14:55

3. しまばら^{しらぬいれん}不知火連「ガマダス阿波踊り」による地域活性化の戦略と成果 14:55~15:20

廣瀬 朗〈長崎県〉 しまばら不知火連 連長

しまばら不知火連は平成6年島原商工会議所青年部を中心に結成された阿波踊りグループ。現在連員55名。「ガマダス阿波踊り大会」事業の発端は、平成4年「阿南・島原元気塾」で披露された徳島県阿南市役所ささゆり連による阿波踊りの感動、阿波踊りの贈り物を雲仙噴火災害時の支援の象徴と捉え、感謝の記憶を風化させない事、阿波踊りを楽しく踊る事、広域の参加者を獲得して、交流人口の拡大をはかる事など複合的な地域活性化戦略の視点にたって事業を進めている。5回の大会を経て地域への浸透も深まり、資金の助成など協力体制も整いつつある。

4. 「竹笛」人材の活用と竹笛演奏グループによる地域活動の創造 15:20~15:45

米須美佐枝〈沖縄県〉 西原町中央公民館・西原町平園自治会 社会教育指導員

公民館が発掘した竹笛演奏家による子どもの音楽指導の経験と技術を地域子ども会の活動プログラムに活用し、子ども会活動の活性化に成功している。子どもたちの活動は竹笛の手作り・創作から挑戦を始め、チーム演奏のわざを学び、練習の成果も上がって、かずかずの催しに参加・出演が出来るようになるまで成長した。準備過程における親子による参加はわが子との絆を深めることはもちろん、子ども会の保護者と地域の他の子どもたちとの交流も巧まらずして拡大している。子どもたち自身は竹笛演奏活動が関係者の評価を受けることによって自信が持てるようになり、音楽に対する感性を磨いている事も疑いない。

5. 総括討論 15:45~16:15

6. 特別報告(4F大研修室)

「生涯学習実践研究20年の総括」～日本文化における知的風土の変革～

三浦清一郎 (社会教育・生涯学習研究者)

16:30~17:00